

まちだユニバーサル社会推進計画 (第3次町田市福祉のまちづくり推進計画) 2022年度推進事業取組結果

1 まちだユニバーサル社会推進計画（第3次町田市福祉のまちづくり推進計画）について

- ・町田市では、「福祉のまちづくり総合推進条例」に基づき、2012年に第1次町田市福祉のまちづくり推進計画、2017年に第2次町田市福祉のまちづくり推進計画を策定し、福祉のまちづくりを進めてきました。
- ・これまでの計画では、市内の建築物や道路等のバリアフリーや高齢者、障がい者などに対する心のバリアフリーの推進等の事業を推進してきました。
- ・国は2018年に「ユニバーサル社会実現推進法」を制定し、全ての人々が共生する社会である「ユニバーサル社会」という新たな社会像を定義しました。
- ・町田市では第3次計画の策定にあたり、この社会情勢の変化を踏まえると共に、これまで推進してきた事業の拡充に取り組むため、「まちだユニバーサル社会推進計画（第3次町田市福祉のまちづくり推進計画）」（以下、ユニバ計画）に計画名を変更しました。
- ・ユニバ計画では、「全ての人々が日常生活やいざという時などあらゆるシーンにおいて、安心・快適で一人ひとりの人間として尊重され、いきいきと暮らすことのできる社会」の実現を目指し、事業を推進していきます。

2. ユニバ計画の推進事業について

(1) 2022年度推進事業（ユニバ計画122ページから123ページ）

2022年度は、第2次町田市福祉のまちづくり推進計画の事業を継続実施し、29の推進事業に取り組みました。（うち、重点事業は3事業）。

(2) 2023～2026年度推進事業（ユニバ計画24ページから28ページ）

- ・2023年度からは、ユニバ計画として、新規事業を加えた3つの推進分野別に、30の推進事業に取り組みます。（うち、重点事業は5事業）。

3. 自己評価と外部評価について（ユニバ計画20ページ）

- ・ユニバ計画では、福祉のまちづくりに関する取組を着実に進めるため、目標が達成されたかどうか、事業の推進過程で市民参加や意見反映ができたかどうか等の評価を行います。
- ・評価に当たっては、各事業の担当者が行う「自己評価」と、客観的かつ専門的な課題を把握するための「外部評価」を組み合わせ実施します。

*自己評価とは…推進事業の各担当課が、プロセスについて適切なものであったか、目的に合った効果が得られているかという視点から、取組状況について毎年実施。

*外部評価とは…5年に1度、町田市福祉のまちづくり推進協議会が自己評価の結果を踏まえ、重点事業を対象とし実施。（前回：2021年11月15日実施）

4. 2022年度各事業の取組結果（自己評価の結果）

《推進分野1》施設等のバリアフリー、ユニバーサルデザインの整備の推進

駅周辺地区の面的整備のほか、市の施設、道路、公園など都市基盤の整備を行います。また、住宅や店舗等のバリアフリーを推進します。

推進事業（◆：重点事業）	
◆（1）バリアフリー基本構想の進行管理事業	
目標	・特定事業計画の進行管理
結果	・必要に応じて、バリアフリー整備等行う予定のある施設所管課と連携を図り、助言したほか、当事者参加の仕組みについて関係部署と検討を行いました。 ・特定事業計画の進捗率は72.8%でした。
（2）福祉のまちづくり総合推進条例・適合証制度普及啓発事業	
目標	・条例及び適合証制度の周知 ・検討結果に基づく普及・啓発の実施
結果	・規則改正による整備基準等マニュアルの一部改訂を行いました。また、福祉のまちづくり総合推進条例についての取組や内容について市民向けに伝えられるよう啓発チラシを作成しました。 ・事業者向けに適合証の案内が入った窓口資料の配布を開始しました。
（3）市の新築建築物のユニバーサルデザインによる整備事業	
目標	・各新築施設の整備（継続）→【子どもクラブの整備事業】小山田子どもクラブの整備 ・多様な方々が建設検討に参加できる仕組みづくりの検討及び実施
結果	・事業対象者へ、館内設備（遊具等）の希望等についての意見募集を行うとともに、施設整備の設計にあたっては、福祉のまちづくり総合推進条例に基づき進めました。（2022年度は小山田子どもクラブ） ・必要に応じて、バリアフリー整備等行う予定のある施設所管課と連携を図り、助言したほか、当事者参加の仕組みについて関係部署と検討を行いました。
（4）市の既存建築物のバリアフリー、ユニバーサルデザインの推進	
目標	・各改修施設の整備（継続）、多様な方々が建設検討に参加できる仕組みづくりの検討及び実施。 ・各改修施設の整備（継続）、町田第一小学校の学級増による増築工事に伴う既存校舎の改修であり、法令上必要な対応を行います。
結果	・必要に応じて、バリアフリー、ユニバーサルデザイン整備に関連する補助金について関係部署へ情報提供を行い、整備に関する助言等を行いました。 ・法律上必要な対応を土地利用調整課、建築開発審査課と協議し対応しました。（施設課）

(5) バリアフリー化整備資金に係る利子助成事業	
目標	・制度の周知、申込受付
結果	・窓口や金融機関を通して、事業の周知に取り組みました。
(6) 住宅バリアフリー化改修工事助成事業	
目標	・事業の継続
結果	・申請書負担の軽減を意図して手続きの見直しを行い、事務を簡素化しました。
(7) 住宅改修アドバイザー派遣事業	
目標	・事業の継続
結果	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険の住宅改修や設備改修を行う方からの依頼に基づき、住宅改修の施工に関する助言及び指導を行うアドバイザーを無料で派遣しました（2022年度183件）。 ・住宅改修を行う方からの依頼に基づき、住宅改修の施工に関する助言及び指導を行うアドバイザーを無料で派遣しました（2022年度12件）。
(8) 共同配車センターの運営補助事業	
目標	・福祉輸送サービスの周知及び支援。
結果	・福祉輸送サービスの取組を市ホームページに掲載しているほか、協定に基づき、災害時における避難行動要支援者の避難輸送が円滑に行えるよう、2022年10月に防災訓練（輸送訓練）を実施しました。
(9) 地域コミュニティバスの運行補助事業	
目標	・既存4路線の運行継続、新規路線の検討
結果	・地域コミュニティバスについては、運行主体である三者（地域協議会・町田市・運行事業者）で現在の状況を共有し、ダイヤや便数等の運行体系につき協議を行いながら運行を継続しています。
(10) 歩道のバリアフリー改善整備（歩道整備）	
目標	・工事
結果	・鶴川駅北口広場整備工事において、歩道整備工事を実施しました。その他4件の歩道整備等工事の実施をし、2022年度分の工事は完了しました。
(11) 無電柱化推進事業	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・町田835号線、町田37号線の設計を実施。 ・町田623号線の電線共同溝及び道路改良工事を実施。
結果	・町田835号線：設計完了、2023年度の工事発注に向けた詳細設計を実施しました。その他2件の事業を実施し、2022年度分の工事は完了しました。
(12) 歩道舗装補修事業	
目標	・工事の実施（歩道舗装補修事業）
結果	・町内会経由やまちピカ町田君による情報提供を元に、通行に支障のある根上を把握し、何度も同じ場所を工事しないよう、他部署と連携して、根上の解消に努めました。

(13) 公園等における市民活動団体等の育成事業	
目標	・ 公益的活動団体の募集・支援の実施 花壇コンクールの開催 緑地保全活動に対する支援
結果	・ 公益的活動団体登録手続等の広報まちだ掲載、ホームページ掲載による募集の実施や緑地保全活動に対する消耗品・原材料・燃料の支給等の支援、ボランティアへの園路整備や除草等の技術支援、花壇コンクールの開催等を通じて、誰もが市民活動に気軽に参加し活動できる環境を整備しました。
(14) 自転車等駐車場の整備事業	
目標	・ 自転車等駐車場の整備促進
結果	・ 駐輪場のキャンセル待ちに対応するために、南町田グランベリーパーク駅に2023年4月1日に駐輪場（南町田グランベリーパーク駅東自転車駐車場）をオープンさせるために調整を行いました。
(15) 公共トイレ計画推進事業	
目標	・ 公共トイレ情報を市のホームページ等に掲載
結果	・ 町田市ホームページでの情報掲示のほか、公共トイレマップを多くの場所で配布しました。

《推進分野2》情報のバリアフリー、ユニバーサルデザインの推進

広報紙、冊子、音声、掲示板、インターネットを始めとする多様なツールを充実させ、高齢者、障がい者を始めとする全ての人が、簡単かつ効率よく、まちに関する情報を得られる環境づくりや情報を共有できる仕組みづくりを推進します。

推進事業 (◆：重点事業)	
◆ (16) 市からの情報発信のバリアフリー化推進事業	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ ルールに基づく情報発信の周知徹底、情報ユニバーサルデザイン対応状況の改善 ・ 広報活動（広報紙、HP等）の質の向上
結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「まちだユニバーサル社会推進計画（第3次町田市福祉のまちづくり推進計画）」を策定するにあたり、市民意見募集の案内や計画概要版の点訳資料を作成したほか、市ホームページへ計画全編の音声読み上げテキストを掲載しました。 ・ 2022年9月から福祉総務課公式Twitterを開始し、幅広い情報発信を進めています。 ・ ホームページのアクセシビリティについては、各課が作成する新規のコンテンツをチェックをしてから公開するとともに、庁内向けの研修で啓発・周知を行っている。さらに毎年1回試験を実施しており、高齢者や障がい者等、身体の機能に制限がある人でも情報にアクセスすることができるよう改善を行っています。
(17) 手話通訳者・要約筆記者の派遣事業	
目標	・ 手話通訳者、要約筆記者の派遣の継続
結果	・ 手話通訳者、要約筆記者の派遣の継続

(18)「高齢者のための暮らしのてびき」作成	
目標	・高齢者のための暮らしのてびき発行継続
結果	・高齢者向けの情報を掲載した「高齢者のための暮らしのてびき」を3年に1度発行しました。次回発行は2024年4月です。
(19)「障がい者サービスガイドブック」の作成	
目標	・「障がい者サービスガイドブック」の継続発行
結果	・障がいに関する各種相談窓口や制度、市内事業所一覧等を記載した「障がい者サービスガイドブック」を継続して発行し、相談窓口等の周知を図ることで、障がいがある人に必要な情報やサービスが行き届くようにします。
(20)「まちだ子育てサイト」による子育て情報の発信	
目標	・情報の更新及び配信を継続
結果	・市内への周知及び掲載の呼び掛けを行うことで、子どもやその保護者向けのイベント情報の充実を図りました。
(21)「みんなのおでかけマップ」の整備事業	
目標	・情報の更新・拡充、市民への配布、掲載内容・形態の随時見直し
結果	・「町田市バリアフリーマップ」運営団体(NPO法人)の協力を得て、2021年度からリニューアルしたPDF版の「みんなのおでかけマップ」を作成しました。また、オープンデータとして市政情報課へ提供をしているほか、2022年度で新たに導入した福祉総務課公式TwitterにおいてもPRを行っています。
(22) 町田駅周辺駐輪場マップの作成	
目標	・町田駅周辺駐輪場マップの作成・配布の継続
結果	・安全な道路環境を維持し、歩行者・自転車利用者が安心して通行できるように、駐輪場マップの作成・配布しました。

《推進分野3》心のバリアフリー、ユニバーサルデザインの推進

高齢者、障がい者、子ども、妊産婦、外国人など、人々の多様性に互いに気付き、思いやりのあるやさしいまちづくりを推進します。

推進事業 (◆：重点事業)	
◆ (23) 心のバリアフリー、ユニバーサルデザインの普及啓発事業	
目標	・啓発内容の検討及び事業実施
結果	・新規採用職員を対象とした心のバリアフリーを含むユニバーサルデザインのまちづくりに関する研修を行ったほか、中央図書館で「心のバリアフリー」の関連書籍を紹介した特集コーナーを設置しました。 ・「心のバリアフリー」認知度を把握するため、今年度からちよこっとアンケートを実施し、アンケート対象者へ「心のバリアフリー」の認知度調査を行いました。
(24)「心のバリアフリーハンドブック」の活用事業	
目標	・市立小学校4年生への配布、市民参加イベント・講演会などでの配布、活用
結果	・市立小学校4年生を対象として「心のバリアフリーハンドブック」を配布したほか、中央図書館の特集コーナー、新規採用職員研修等の場でも配布を行いました。また、市ホームページでもハンドブックの紹介を行っています。

(25) 市立小・中学校での心のバリアフリー教育の推進	
目標	・継続して実施していきます。
結果	・東京都立町田の丘学園（都立特別支援学校）の副籍交流を実施しました。 ・東京都立町田の丘学園（都立特別支援学校）と町田市立小学校2校、中学校1校との交流教育を実施いたしました。
(26) 交通安全教育の実施	
目標	・交通安全教育の実施
結果	・子どもへの交通安全教育として、市立小学校42校で自転車教室（交通安全講話、実技、筆記テスト）、市立中学校7校でスタントマンを活用した自転車教室を実施しました。
(27) 「まちだの福祉」講座運営事業	
目標	・生涯学習センターの事業計画に基づき運営
結果	・まちだ市民大学 HATS「まちだの福祉」講座を実施し、前期は「安心して町田で暮らせるために」をテーマに全7回、後期は「様々な人たちと育む共生社会づくり」をテーマに全7回の連続講座を実施し、延べ251人が受講しました。
(28) 「障がい者青年学級」運営事業	
目標	・障がいのある青年たちが、当事者同士、あるいは地域住民や学生といった様々な人々と交流し、音楽・スポーツ・演劇・創作などの集団活動を行うことにより「生きる力・働く力」を獲得できるよう目指しています。
結果	・音楽、スポーツ、演劇、創作などの集団活動を通じて、障がい者の方たちに対して、社会参加、学習活動の場を提供しました。 ・約150名の学級生が在籍し、50名ほどのボランティアスタッフとともに3学級に分かれて月2回、年間16回活動しました。
(29) 市職員の心のバリアフリー研修事業	
目標	・職員研修の実施、アンケート等の実施・検討
結果	・新規採用職員研修 ～ユニバーサルデザインのまちづくり～（講師：福祉総務課） ・2022年4月5日に実施。対象者は新規採用職員で、参加人数合計55人でした。 ・内容は、町田市の福祉のまちづくりの取り組み、ユニバーサルデザインとはなど。その他2件の心のバリアフリーに関する研修を実施しました。